ICOM

取扱説明書

たちまちコール2

特定小電力トランシーバー

IC-4050A
IC-4050B

Icom Inc.

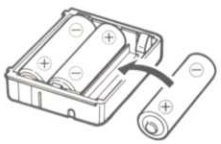
操　作　前　の　準　備

1.準備

①本機を使用される場合は、必ず別売のBM-93(急速充電器)で、充電を行ってください。

※充電時間は、1台で約1.5時間、2台の場合は約3時間です。
また、付属のバッテリーケースをご使用の場合は、市販の単3形乾電池3本を図のように極性をまちがえないようにセットしてください。

●図のようにカバーを外し、内蔵のNiCdバッテリーパックを取り出します。



●バッテリーケースに市販の単三乾電池をセットします。

●バッテリーケースを本機に装着し、カバーを元どおりセットします。

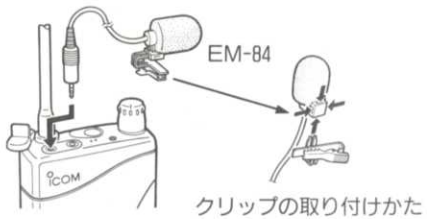
②イヤホンジャックに付属のイヤホンを接続します。

※別売品のタイピンマイク(EM-84)をご使用の場合は、プラグを外部マイクジャックに接続します。

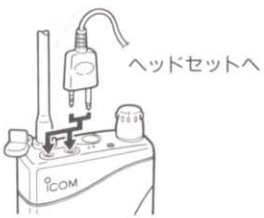
※別売品のヘッドセット(HS-75)をご使用の場合は、中継コードのプラグをイヤホン/外部マイクジャックに接続します。

③電源/VOLツマミを時計方向に回し、電源を入れます。
約3秒間ノイズ音(ザー)がイヤホンから聞こえますから、VOLツマミで聞きやすい音量に調整します。

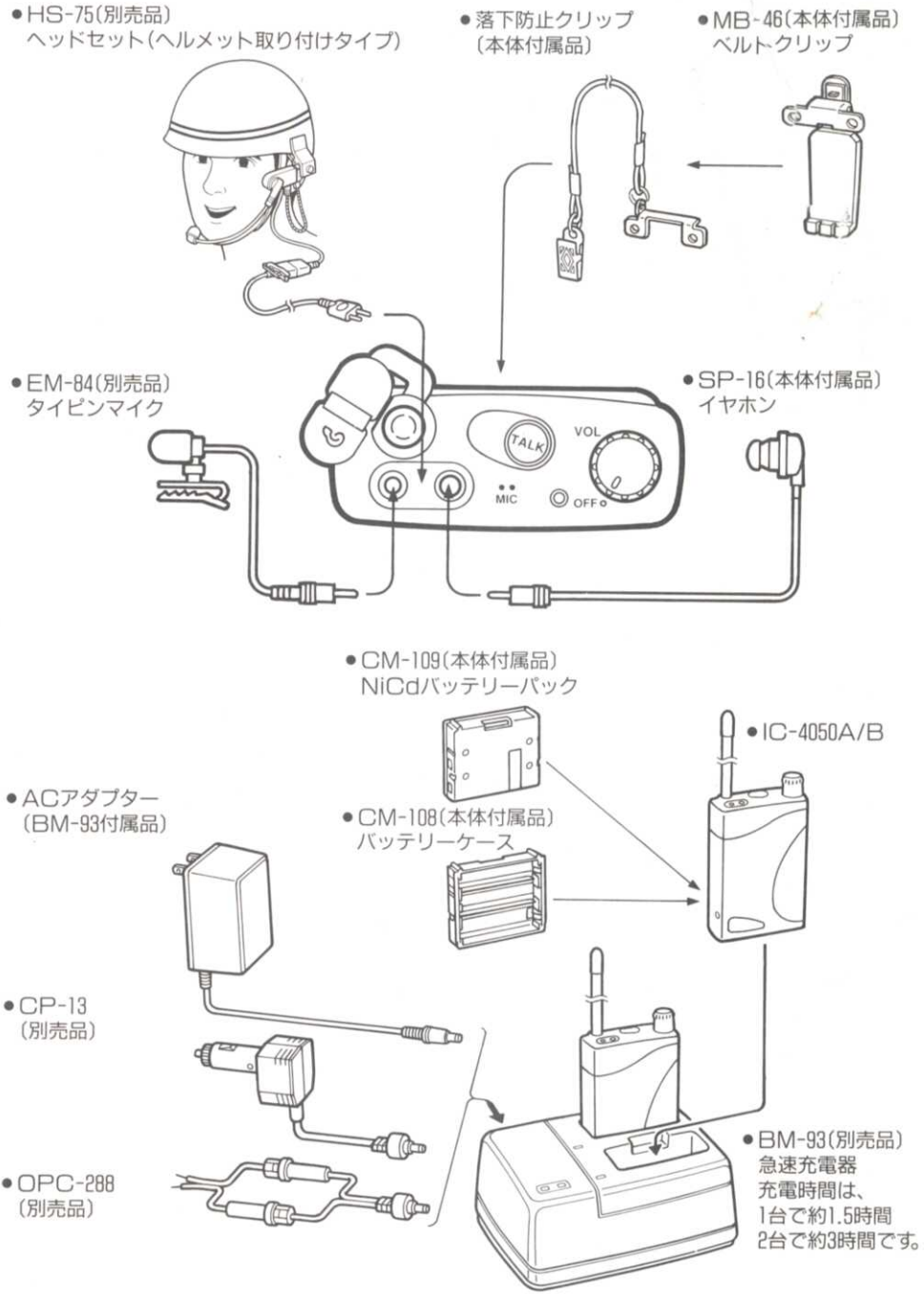
■EM-84の接続



■HS-75の接続



付属品と別売品の構成


●HS-75(別売品)
ヘッドセット(ヘルメット取り付けタイプ)
●落下防止クリップ
(本体付属品)
●MB-46(本体付属品)
ベルトクリップ
●EM-84(別売品)
タイピンマイク
●SP-16(本体付属品)
イヤホン
TALK
VOL
MIC
OFF
●CM-109(本体付属品)
NiCdバッテリーパック
●IC-4050A/B
●ACアダプター
(BM-93付属品)
●CM-108(本体付属品)
バッテリーケース
●CP-13
(別売品)
●OPC-288
(別売品)
●BM-93(別売品)
急速充電器
充電時間は、
1台で約1.5時間
2台で約3時間です。

通　話　方　法

1.IC-4050A/B(ペア)による通話方法(ペア仕様)

①通話するときは、TALK(通話)スイッチを押します。
このとき、ビープ音が"ピー"と鳴り、通話表示ランプが赤色→消灯→オレンジ色と切り換わり、再度ビープ音が"ピー"と鳴り、相手局との接続が完了します。
②相手局は、呼び出しを受けるとビープ音が"ピロピロピロ"と鳴り、通話表示ランプが赤色→消灯→オレンジ色と切り換わり、通話状態となります。
③本機のマイクロホンは上面部に内蔵されており、胸ポケットに装着した状態で通話を行うことができます。
受信はイヤホンで行いますから、ハンドフリーによる同時通話ができます。
④通話を終了するときは、TALKスイッチを押します。
このとき、通話表示ランプは緑色に切り換わり、相手局の通話表示ランプも赤色に切り換わり、約1秒後に消灯し待ち受け状態になります。

2.IC-4050A(親局)/IC-4050B(子局)複数台による通話方法(一斉呼び出し仕様)

①親局(IC-4050A)は、子局(IC-4050B)複数台に対して一斉呼び出しを行うことができます。
②一斉呼び出しを行う親局は、TALK(通話)スイッチを押します。
このとき、ビープ音が"ピー"と鳴り、通話表示ランプが赤色→消灯→赤色と切り換わり、再度ビープ音が"ピー"と鳴り、子局(複数台)との接続が完了します。
③一斉呼び出しを受けた子局はビープ音が"ピロピロピロ"と鳴り、通話表示ランプが赤色→消灯→緑色と切り換わり、受信状態となります。
このときの動作状態は、下記のようになっており、親局は子局に対して一斉呼び出しを行うことができます。
- 親局(IC-4050A)……送信のみ
- 子局(IC-4050B)……受信のみ

④親局は通話したい子局(複数台中の1台)を指定します。
指定を受けた子局は、TALKスイッチを押すと、ビープ音が"ピー"と鳴り、通話表示ランプがオレンジ色に切り換わり、同時通話ができます。
※その他の子局は、親局の話しだけが聞こえます。
⑤通話が終了すると子局は、TALKスイッチを押して受信状態に戻します。
このとき、ビープ音が"ピー"と鳴り、通話表示ランプが緑色に切り換わります。
⑥親局は次の子局を指定します。
(上記④からを繰り返すことにより、すべての子局に指示を与えることもできます。)
⑦一斉呼び出しを終了するには、親局がTALKスイッチを押すことにより、すべてが待ち受け状態になります。
※子局から親局を呼び出した場合の通話終了は、親局のTALKスイッチを押してください。
子局がTALKスイッチを押すと、上記③の動作状態になります。

はじめに

このたびは、たちまちコール2システム(IC-4050A/B)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、特定小電力無線局システムの『特定小電力無線局』および『技術基準適合証明を受けた無線局』として認定された超小型・同時通話型の携帯用無線電話装置です。

ご使用の際は、この取扱説明書を良くお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくと共に、末長くご愛用くださいますようお願い申しあげます。

使用上のご注意

- 本機を分解したり、内部を触ることは電波法で禁止されています。
  本機は厳重な管理のもとで生産、調整されていますので、内部の部品に触らないようにしてください。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く、ほこりや湿気の多い場所などに置かないでください。
- 水滴や汚れが付いたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
  シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 乾電池使用の場合は、できるだけ高容量のアルカリ電池のご使用をおすすめします。
  乾電池使用時、チャンネルの接続が悪くなったときが電池の交換時期です。
  乾電池の交換は、必ず3本とも新しい電池と交換してください。
- NiCdバッテリーパック使用時、通話表示ランプが下記のように点滅した場合は、再充電を行ってください。
  - 待ち受け時……赤色と緑色が交互に点滅
  - 通　話　時……オレンジ色と緑色が交互に点滅
- 本機は、下記の場合通話できませんので、ご注意ください。
  - IC-4050A同士またはIC-4050B同士の通話
  - ペアー仕様と一斉呼び出し仕様との通話
  - トランシーバーに指定されているコードナンバーの異なる局との通話
- 通話距離は周囲の状況により、変化しますのでご注意ください。
- 民間航空機内、新幹線車両内などでの使用は原則として行わず、必要の場合は管理者の承認を得るようにしてください。
- 本機の使用は、日本国内に限られています。

故障のときは

本機に万一不具合な点があったり、故障が発生したときは、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは、必要な事項を記入した保証書と具体的な症状を明記のうえ、お買い上げの販売店または弊社営業所サービス係へご持参ください。

なお、保証規定につきましては、保証書をよくお読みください。

■ペアによる通話方法

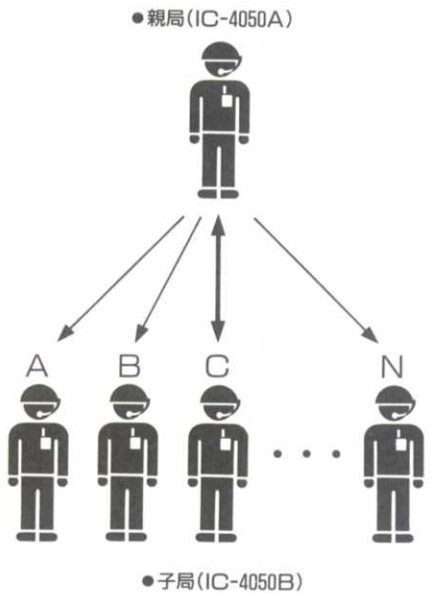
※通話を行う局側の操作のみで、簡単に同時通話を行うことができます。

■ペアー操作

①通話をするときは、TALKスイッチを押します。
②ペアー同士の同時通話ができます。
③通話の終了は、TALKスイッチを押してください。

■使用時間のめやすについて
- NiCdバッテリーパック…約8時間
- アルカリ電池……約12時間
- マンガン電池……約2～5時間

■一斉呼び出しによる通話方法



※図の場合、親局と子局(C局)が同時通話ができ、他の子局は親局の話しだけが聞こえます。
なお、子局同士の通話はできません。

■親局の操作(IC-4050A)

①親局は、TALKスイッチを押します。一斉呼び出し状態となり、すべての子局に指示することができます。
②個別に通話する場合は、子局を指定します。(下記子局の操作参照)
③指定した子局と同時通話ができます。
④次の子局を指定します。
⑤一斉呼び出しの終了は、親局がTALKスイッチを押します。

■子局の操作(IC-4050B)

①すべての子局は、受信状態になります。親局からの話しが聞こえてきます。
②指定された子局は、TALKスイッチを押します。
親局と同時通話ができます。
③話が終ると子局は、TALKスイッチを押します。
④次の指定を受けた、子局は上記②③の操作を行ってください。
※子局から一斉呼び出しを終了することはできません。

各部の名称と機能

●アンテナ
アンテナは本体に固定されています。
破損した場合は、販売店にご相談ください。

●イヤホン／外部マイクジャック
付属のイヤホンを接続するジャックです。
別売のヘッドセットなどを使用するときは、イヤホンジャックと外部マイクジャックに中継コードを接続します。

●充電端子
NiCdバッテリーパックの充電端子です。

●TALK(通話)スイッチ
通話チャンネルを自動で設定し、本機を通話状態にするスイッチです。

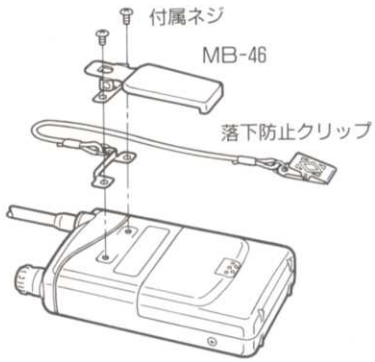
●電源／VOL(音量)ツマミ
電源のON／OFFと受信音量を調整するツマミです。

●通話表示ランプ
通話状態をオレンジ色
送信状態を赤色、受信状態を緑色で表示します。

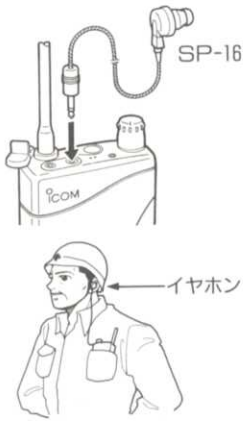
●MIC(マイク)部
内蔵マイクが取り付けられている部分です。

付属品の取り付けかた

■MB-46と落下防止クリップの取り付けかた
下図を参照して、付属のネジで取り付けてください。



■SP-16の接続
プラグをイヤホンジャックに接続します。



概　　要

- 資格・免許不要(免許、資格、申請などめんどうな手続きがいらず、手にしたその日から、誰でも簡単にご使用になれます。)
- 連続通話に対応(出力1mWタイプのため通話時間に制限がありません。)
- 同時通話方式(電話感覚による同時通話方式の採用)
- 連続8時間運用(大容量NiCdバッテリーパックの採用)
- 簡単操作(操作スイッチは、電源/VOLツマミとTALKスイッチのみの超簡単操作)
- MCA方式(マルチ・チャンネル・アクセス方式により、空きチャンネルを自動設定)

定　　格

1.一般仕様

通信方式	複信方式
電波型式	F3E(呼び出し名称は、F1D)
チャンネル数	19チャンネル(制御チャンネル含む)
チャンネル切り換え方式	MCA(マルチ・チャンネル・アクセス)方式
周波数安定度	±4ppm以内(0℃～+50℃)
電源電圧	DC3.6V(NiCdバッテリーパック使用時) DC4.5V(単3形乾電池3本使用時)
消費電流	待ち受けパワーセーブ時　約20mA 通話時　約110mA
使用時間	8時間(NiCdバッテリーパック使用時)
送信時間制限	通話時間無制限
使用温度範囲	0℃～+50℃
寸法	幅62×高さ98×奥行24㎜(突起物を含まず)
重量	約185g(NiCdバッテリーパックを含む)

2.送信部

送信出力	1mW(+20%　−50%)
変調方式	周波数変調(直接変調)方式
スプリアス発射強度	2.5μW以下

3.受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	−5dBμ以下(12dB SINAD)
スプリアスレスポンス	40dB以上
副次的に発射する電波の強度	4000μμW以下

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

●サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-5216S-1J　1992 © Icom Inc.